るべき日本、支那印度の労働事情を調査することによつて、如何なる労働団体を代表的なものと見做して交渉を開始すべきか、各国労働団体の推薦するに便宜なる當面の問題如何、換言すれば東洋労働者會議開催の準備としての組織並に主要議題を調査することにあつた。

印度及びアジアの諸国に就ては、印度ジヨウシ氏より調査報告あり、パレンスチナ其他二三の労働団体よりは直接参加申込み、乃至は照会に接した。國際部は之等に対して、其の都度、準備の進展しつゝある情況を報告して互に連絡を取つた。

　而して支那の労働事情の調査には　その最も困難とする所であつて、当初より主力を之に注ぎ凡ゆる機関と資料を善用して其の調査を進めたるも、由来支那の労働事情は極めて広範複雑を極むる上に、從来官民共に信頼するに足る調査に乏しく諸種の困難は調査の進捗と共に益々大となり、之

が確実なる調査を期するためには、國際部より直接現地に出張して調査兼下準備をするの外、適切なる方法なきことを信ずるに至つた。然るに國際部の現下の事情は財政的にも人事上からもかゝることを許さないので、之れが遂行には適當の時機を俟つの外なきに至つて居る。更に之に増して支那労働事情の調査を困難ならしめることは昨年四月以来支那に勃発して今日に継続せる労働不安並に政乱である。最近に於ては支那は政情は依然として混乱をつゞけ支那の労働事情は益々紛糾を重ね來つたので、此の情態の続く限り東洋労働者会議は不可能となつた。

　当初の調査方針の下に活動した結果は大体上述の如き始末となつた。此に於て本年三月以来、國際部は各方面に対して当分調査の完成に主力を注ぐこと、従つて当分は東洋労働者会議開催の見込立たざることを報告し、将来共此の目的達成のために凡ゆる協力を誓ふべきことを述べて了解を